

〔市内中学校の部 入賞〕

海を目指して

鳥羽市立鳥羽東中学校 二年

亀谷 瞳

いい加減に腹が立ってきて
自分から崩してしまった
後に残るのは 砂の固まりだけ
波はまた平然と
崩された城を襲っていた

時間をかけても
一生懸命に作っても
海にしたら ちっぽけなものなのだろうか
次々と 固まりは波につぶされてゆく
そんな目の前の小さな出来事を
だたひたすらに見つめながら思う

昼下がりの海は
時が止まったように穏やかだった

この海にはどんな生き物がすむのか
この海の先には何があるのか
まだまだ知らない事が多い
それだけ海は広大なのだ
自分は この海を超えられるだろうか
そんな質問を投げかけても
返ってくる答えはないけれど
確信する

この海のように優しく

この海のように広い心をもとうと

焦らずに行こう 自分のペースで
歩き続けよう 立ち止まらずに
どんなに努力しても

波は簡単にかき消してしまうけど
何度だって 努力する事はできる

成功させてやる 超えてみせる
目の前に広がるこの海を目指して

私の足元には 完成した城が建っていた